



阪神高速 3号神戸線（京橋～摩耶）で
終日通行止めによるリニューアル工事を実施します。
2023年5月～6月に約3週間を予定。



阪神高速道路株式会社では、安全・安心・快適を未来につなげるため、構造物の長寿命化に向けた「高速道路リニューアルプロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、3号神戸線（京橋～摩耶）の上下線で、終日通行止めにより床版取替等のリニューアル工事を約3週間予定していますのでお知らせします。

高速道路をご利用されるお客さま、並びに沿道にお住まいの皆さまにはご迷惑、ご不便をおかけいたしますが、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

● 通行止めの時期 ●

2023年5月～6月（約3週間）※予定 ※詳細な日時についてはあらためてお知らせいたします。

● 通行止めの区間 ●

3号神戸線（京橋～摩耶）の上下線 約4.2km

〔出入口等〕 上り：京橋（東行）入口、生田川（東行）出入口、摩耶（東行）出口
下り：京橋（西行）出口、生田川（西行）出入口、摩耶（西行）入口
京橋PA（東行・西行）



通行止め区間 位置図

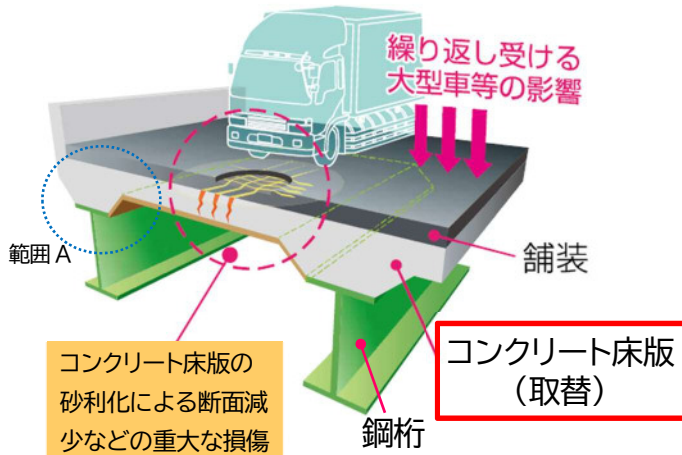
3号神戸線の状況

3号神戸線（京橋～摩耶）は、1968年（昭和43年）の供用から50年以上が経過し、コンクリート床版などの損傷が進展しています。また、2010年（平成22年）に実施した大規模な補修工事から10年以上が経過し、舗装や橋梁の継ぎ目に設置する伸縮継手（ジョイント）の損傷も顕在化している状況です。

特に、一部のコンクリート床版では、砂利化による断面減少※などの重大な損傷が進展していることから、表面から補修しても損傷が繰り返し発生する状況にあります。損傷がさらに進展すると、路面陥没などの致命的な損傷につながる恐れがあるため、サステナブルな社会を目指した抜本的な対策が必要となっています。

このような対策が必要であることから、約3週間の終日通行止めによる工事を予定しています。

※断面減少：コンクリート床版の厚さが薄くなること



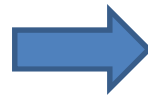
コンクリート床版の損傷概念図



舗装損傷



コンクリート床版の損傷



表面から補修しても
範囲が拡大して
損傷が繰り返し発生

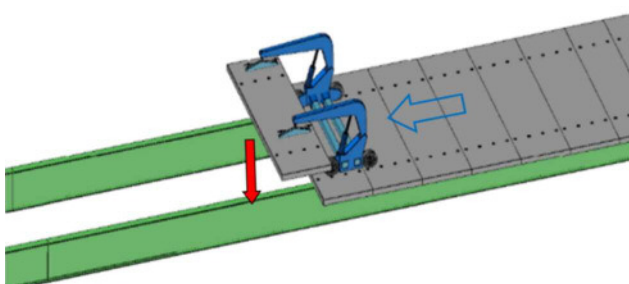


コンクリート床版の損傷(損傷範囲の拡大)

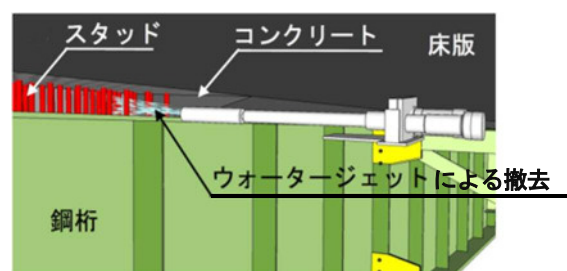
主な工事内容

●コンクリート床版の取替

著しく損傷したコンクリート床版（2箇所）において、砂利化による断面減少及びコンクリート強度の低下が確認されており、抜本的な対策として、コンクリート床版の取替により長期の耐久性を確保します。また、通行止めによるお客さま影響を最小限に抑えるため、事前にできる工事は可能な限り通行止め前の交通影響が少ない時間帯に行います。



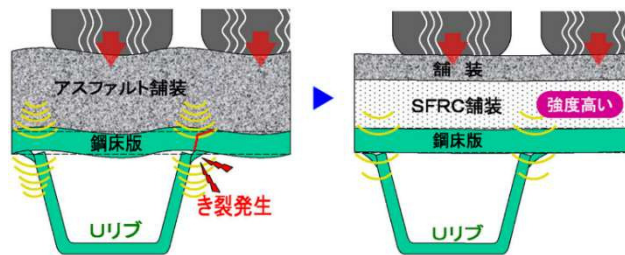
コンクリート床版の取替イメージ



通行止め期間前の撤去作業イメージ(範囲A付近)

●鋼床版へのSFRC舗装

鋼床版を採用している区間では、繰り返しの交通振動によりき裂が発生している箇所があります。このような箇所において、既設のアスファルト舗装を剛性の高い鋼繊維補強コンクリート（SFRC：Steel Fiber Reinforced Concrete）に置き換えることで長期の耐久性を確保します。



【通常のアスファルト舗装の場合】		【SFRC舗装を実施した場合】	
強度	低い	強度	高い
鋼床版発生応力	大きい	鋼床版発生応力	小さい
疲労耐久性	低い	疲労耐久性	高い

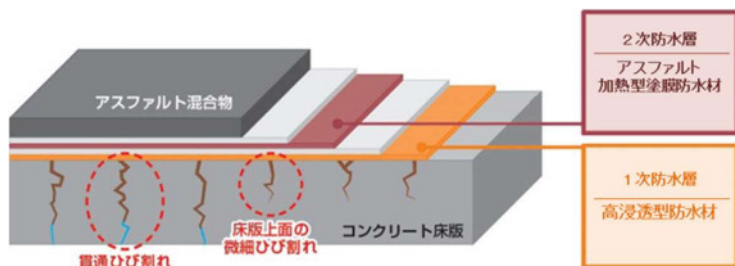
通常のアスファルト舗装とSFRC舗装の比較



SFRC舗装の施工状況

●コンクリート床版への高性能床版防水

コンクリート床版は、ひび割れ部分から雨水が浸入することでコンクリートの劣化の原因となります。ひび割れへの浸透性の高い1次防水層（高浸透型防水材料）と2次防水層（アスファルト加熱型塗膜系防水材料）を組み合わせた高性能床版防水を設置することで雨水の浸入を防ぎ、コンクリート床版の長寿命化を図ることが期待できます。



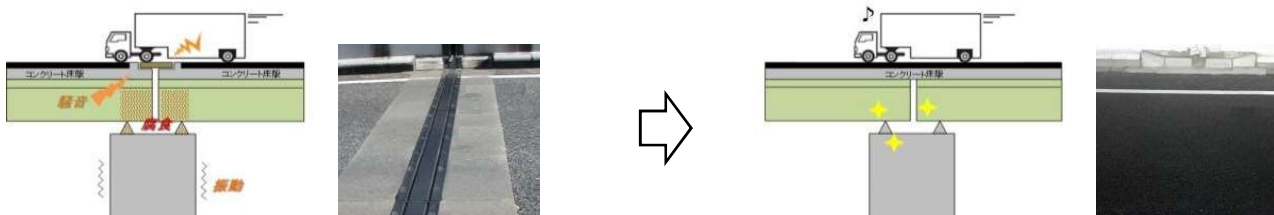
高性能床版防水の概念図
(コンクリート床版の上面)



高性能床版防水の施工状況

●ジョイントレス化（伸縮継手（ジョイント）の削減）

伸縮継手（ジョイント）は、安全性・走行性の向上、車両走行時の騒音・振動の低減、ジョイント部から浸入する雨水による橋梁端部の鋼材の腐食の予防を目的として、可能な限り削減します。



ジョイントレス前

ジョイントレス後

●舗装・伸縮継手（ジョイント）の補修

舗装や伸縮継手（ジョイント）は、全面的な補修により、安全性と走行性を向上させます。

工事の詳細について（今後の予定）

現在、3号神戸線（京橋～摩耶）リニューアル工事実施に向けて、関係機関と連携し、検討を行っているところです。なお、工事の詳細な内容についてはあらためてお知らせいたします。